

こども 貧困の困

**こどもの貧困問題に取り組む
皆さんを応援します！**

～朝日こどもの貧困助成 事業企画募集～

日本のこどものおよそ6人に1人が貧困と言われています。こどもたちが環境や状況に影響されることなく、教育を受け、社会に受容され、自立して生きていけるように、こどもの貧困問題に取り込む斬新な視点や発想がある事業を公募し助成します。

なんとか
しなきゃ！



主催／朝日新聞厚生文化事業団 朝日新聞社

後援／内閣府 全国社会福祉協議会

朝日こどもの貧困対策フォーラム後援／文部科学省 厚生労働省

朝日こどもの貧困助成～募集要項～

助成対象

こどもの貧困問題に関する事業で内容、計画に実現性があり、以下の要件のどれかにあてはまるもの

- ① 先進的、独創的な事業
- ② 持続性と広がりが期待できる事業
- ③ 新たな福祉問題や社会問題の掘り起こしにつながる事業

例) ● 貧困家庭の子どもや親に対する支援

- 当事者支援をする団体や事業に対する支援
- 子どもの貧困に関する研究・調査
- 啓発や養成、研修およびガイドブック・テキストなどの制作
- 行政や法の狭間に落ちている貧困問題への支援
- 日が当たらず救いの手が届いていない貧困問題への支援

助成条件

- 2017年1月から12月までに行われる事業を対象とします
(上記期間中に実施される継続的な事業も対象となります)
- こどもの貧困のケア、防止、予防、教育、啓発に携わる団体・グループの事業および調査・研究
- 営利を目的としない民間団体、グループであること
- 法人格の有無は問いません。
- 事業にかかる経費が対象。ただし人件費は総額の30%までとします。

[助成対象にならないもの]

- 主に公的補助で運営されている事業
- 事業は日本国内に限り、海外での事業は対象としません。
ただし、国内で活動している海外の団体・グループは対象とします。
- 政治・宗教を主たる活動とする団体の活動
※反社会的な活動に関わる団体からの申請は受け付けられません

助成金額

総額 1,000万円

(1件100万円、10団体ほどを予定)

募集期間

2016年

7/15(金)～9/1(木)必着

応募方法

応募書類を朝日新聞厚生文化事業団のウェブサイトからダウンロードするか、同事業団にEメール、電話、ファクスなどで直接請求してください。応募書類の提出は郵送に限ります(当日消印有効)。直接持参、Eメール、ファクスでの受け付けはしません。なお、書類不備の場合は失格となりますのでご注意ください。※添付書類を含む申請書類は原則として選考後の返却はしません。

選考方法と結果発表・贈呈式・フォーラム

- 選考は専門家を交えた選考委員会を朝日新聞厚生文化事業団内に設けて行います。
- 必要に応じ、資料請求や現地調査を行います。
- 選考結果は2016年11月上旬に文書でご連絡します。
- 結果の発表を2016年11月下旬、贈呈式を12月初旬に予定しています。
- 助成が決定した団体・グループの名称、代表者氏名、事業名、概要などは、朝日新聞紙上、朝日新聞厚生文化事業団ウェブサイトなどで公表します。
- 2017年1月から3月に東京・大阪・名古屋・福岡で行う「朝日こどもの貧困対策フォーラム(後援/文部科学省、厚生労働省)」のいずれかで事業内容について発表していただきます。
- 助成を受けた団体には中間報告書と完了報告書を提出していただきます。
- 採否の理由は開示しません。
- 報告書に記載された内容は、個人情報保護法やプライバシーを侵害しない範囲において、同事業団のウェブサイトや、寄付者への報告に使用される場合があります。

お申し込み・お問い合わせ 朝日新聞厚生文化事業団 こどもの貧困係

〒104-8011中央区築地5-3-2 TEL03-5540-7446 FAX03-5565-1643
E-MAIL hinkon@asahi-welfare.or.jp